

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●蛭名正義騎手がJRA通算2400勝を達成

2月7日(日)の1回東京4日・第4レースではミッキーグローリーが1着となり、同馬に騎乗した蛭名正義騎手(美浦・フリー)は、史上4人目、現役では武豊騎手、横山典弘騎手に続く3人目の記録となるJRA通算2400勝(1万9160戦目)を達成しました。

●イナリワンが死亡

2月7日(日)、イナリワン(牡32歳)が老衰のため北海道占冠村のあるぶすペンションで死亡しました。1986年に地方・大井競馬でデビューし、1987年東京王冠賞、1988年東京大賞典を制するなど地方通算14戦9勝の成績を残して中央入りした同馬は、1989年に天皇賞(春)、宝塚記念、有馬記念とGI・3勝をあげてJRA賞年度代表馬に選出されるなど、JRA通算11戦3勝の成績で引退。種牡馬としては東京王冠賞勝ち馬ツキフクオー、大井記念や東京記念を勝ったイナリコンコルドなどを出し、種牡馬引退後は功労馬として余生を送っていました。

●インカンテーションが故障

2015年平安S(GIII)などの勝ち馬インカンテーション(牡6歳/栗東・羽月友彦厩舎)は、左腸骨々折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

●ボレアスの競走馬登録抹消

2011年レパードS(GIII)勝ち馬ボレアス(牡8歳/栗東・吉田直弘厩舎)は、2月11日(祝・木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績27戦3勝・地方4戦0勝で、今後は滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となる予定です。

●豪「ザ・チャンピオンシップス」に日本馬4頭が予備登録

4月2日(土)と4月9日(土)、豪シドニーのランドウィック競馬場にて開催されるオーストラリア競馬シーズン終盤のチャンピオンシップイベント「ザ・チャンピオンシップス」各レースに日本馬4頭が予備登録をおこないました。2日のドンカスターマイル(G1)にはトーセンスターダム(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎)とロゴタイプ(牡6歳/美浦・田中剛厩舎)、9日のクイーンエリザベスS(G1)には前記2頭に加えイスラボニータ(牡5歳/美浦・栗田博憲厩舎)とトーセンレーヴ(牡8歳/栗東・池江泰寿厩舎)、同日のシドニーC(G1)にはトーセンレーヴが登録しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●佐賀記念でストロングサウザーが重賞初制覇

佐賀記念(JpnIII、2月11日、佐賀、2000^円)は、5～6番手から差を詰めた4番人気のストロングサウザー(田辺裕信騎手、牡5歳、父ハーツクライ)が直線半ばで抜け出し、3番人気の昨年の覇者マイネルクロープに2馬身半差を付けて完勝。2番人気のクリノスターオーは3着、単勝1.8倍で1番人気のマイネルバイカは4着、マイネルパウンスが5着に入ってJRA勢が上位を独占しています。

●JRAのナンゴクロックオンがたんぼぼ賞(佐賀)に優勝

九州産3歳馬限定戦のたんぼぼ賞(2月11日、佐賀、1400^円、JRA所属馬は500万円以下)は、4番手前後を進んだ3番人気の宮崎産馬ナンゴクロックオン(柴田未崎騎手、牡、父ダンツシアトル)がゴール前で差し切り勝ちを取めました。

●ゴールドジュニアは人気のハイジャ【各地の主要3歳重賞】

ゴールドジュニア(1月28日、笠松、1600^円)は、差のない2番手を進んだハイジャ(牡、父シニスターミニスター)が直線入口で抜け出し、1番人気に応じて重賞初制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●シーキングザダイヤ産駒リオアリベンがチリ・ダービーを制覇

チリのエル・ダービー(G1、芝2400^m)は2月7日、チリ中部のバルパライソ競馬場で行われ、4番人気のリオアリベン(チリ産、牡3歳)が中団待機策から直線で抜け出し、G1初勝利をあげました。良馬場の勝ちタイムは2分25秒13。父のシーキングザダイヤ(アメリカ産)は日本でGI・2着9回の実績があり、現在はチリで種牡馬。チリで他に複数のG1馬を出し、インドでは現地G1馬クエーサー(現役)を出しています。

●アメリカのムシャウィッシュ、ドンH快勝でドバイ遠征へ

元フランス調教馬のムシャウィッシュ(牡6歳、父メダーリアード)は2月6日、3番人気で出走したG1ドンH(ガルフストリーム競馬場、ダート9^f)を3番手の外から差し、ダートG1初勝利です。勝利騎手J.ヴェラスケス、調教師T.プレッチャー。これでドバイ遠征が決定、芝の米G1勝ちもありますが、最近ではダートで好成績をあげていて、第1希望はドバイ・ワールドCということです。